

## 令和4年度 第2回学校運営協議会 議事概要

開催日：令和4年11月24日（木）

時間：14：30～16：30

会場：プレゼンルーム

### <出席委員>

池田 実 委員

池田 吉伸 委員

里見 正憲 委員

嶋村 勝美 委員

竹村 聡美 委員

堀井 久章 委員

田中 和也 委員

（出席7名、欠席1名）

### <説明のための出席教職員>

村田 克也 副校長

沼田 伊里 教頭

高野 真一 事務長

### <公聴者>

新型コロナウイルス感染予防のため、公聴席を設けませんでした。

### <議事等の概要>

#### 1 授業参観

本校のキャリア教育の柱の一つである防災学習について、神奈川歯科大学板宮朋基教授による「防災教育へのAR技術の活用検証（思考訓練）」を参観していただきました。このAR授業は県教育委員会保健体育課の後援によって実現しました。

授業に参加した生徒は3年生各クラスから6名の計36人でした。体験した内容は、タブレット型パソコンを利用した浸水体験、ゴーグル（ヘッドマウントディスプレイ）装着による火災煙からの避難体験、の二つでした。これらは委員の皆様にも体験していただきました。

授業参観後、校長から「県立高校改革実施計画（Ⅲ期）」について説明しました。

#### 2 各委員からの授業参観に対する質問や感想

##### （1）防災教育について

池田実委員

・リアリティがあり生徒たちにも印象に残る授業で、防災意識を育てる上で効果的である。

池田吉伸委員

・防災教育のARの導入については、生徒たちにも記憶に残る経験で良いと思う。これからも、生徒たちがワクワクする体験を通して学べるよう活動してもらいたい。

里見委員

・熱心に取り組んでいた。体験的な内容で、教育効果も高かったと思われる。参加してい

ない生徒にも内容が伝わるとよいと思う。

嶋村委員

・いざという時の備えのためにとっても必要なことだと考える。バーチャルながらとてもリアルな体験ができて、とても良いと思った。

竹村委員

・タブレットによる浸水体験では、ひざ下ぐらい（30 cm）の水で動けなくなることや、水が流れて物がいろいろ流れてくる事の恐ろしさが解った。

・ゴーグルの煙体験では、煙が建物に充満して、匍匐前進並みの動作でしか助からない事が解った。

・非日常の体験はなかなかできない事なので、ARなどを駆使し生徒たちに体験させてあげることが、とても良い事だと思う。また、講師の先生が、生徒たちが楽しそうに体験しているのも「記憶に残る事なので、それも良い事です。それが後々あなた達のためになるかもしれません。」とおっしゃっていたのが素敵だと思った。

堀井委員

・生徒にとっては、防災意識の高まる時間になったと思う。今後も年1回程度できると効果が上がるのではないかな。

## (2) 防災教育に係る教職員研修について

池田実委員

・より現場的な実態検討をまじえた研修が望ましいと思う。

嶋村委員

・生徒の防災意識を高めるためには教職員の防災知識の向上は必要であるし、生徒の安全確保のためにも必要と考える。

## (3) 本日の時程について

池田実委員

・最新の機器を使いとても有意義だった。

里見委員

・良いと思う。

## (4) その他のご意見

池田吉伸委員

・三年生の生徒たちが明るい顔で授業を受けていて、素直に感じた。

里見委員

今日のような機会が全県で実施できるとよいと思う。完校まで、生徒たちが充実した高校生活を送ることができるように工夫する必要があるだろう。

嶋村委員

・近年は大規模な自然災害が毎年のように発生しているし、被害も、人的、物的、共に甚大な状況が報告されている。

・また、我が国は高齢化が進み、地域の防災対策の面で危惧されているように思われる。  
地域の中・高生が災害の際に協力することができれば、大きな力になる。

・よって、防災教育は、自身の身の安全を守ることと共に地域の防災強化の面からとても必要なことと考える。

堀井委員

・生徒が卒業後に、災害ボランティアに行ったときに、ボランティアハイをどのように治めていくか学んでほしいと思う。

以上